

■南アフリカ：大統領が炭素税法案に署名し、6月1日から施行

2019年5月26日付の現地報道によると、南アフリカのラムポーザ大統領が炭素税法案に署名し、2019年6月1日から同法が施行されることになった。第一段階は2022年12月までで、CO₂排出1t当たり約8.3米ドル（約900円）が課される。2023～2030年に予定される第二段階の前に、同税の影響とCO₂排出目標に対する進捗を評価する。同国は2010年に最初の法案を提案したが、電力会社 Eskom や鉱業会社、製鋼会社らが電気料金上昇の懸念を訴え数回、導入が見送られてきた。